押出法ポリスチレンフォーム断熱材

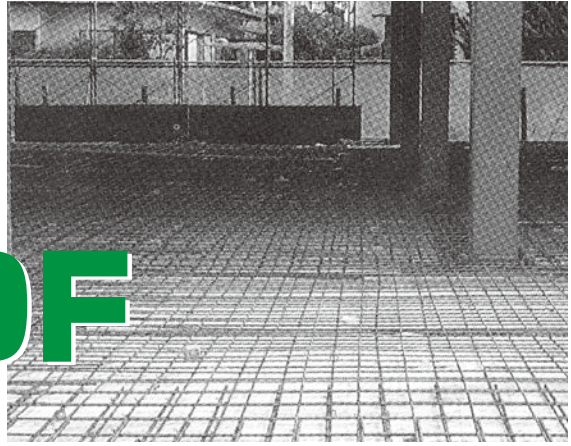
土間用

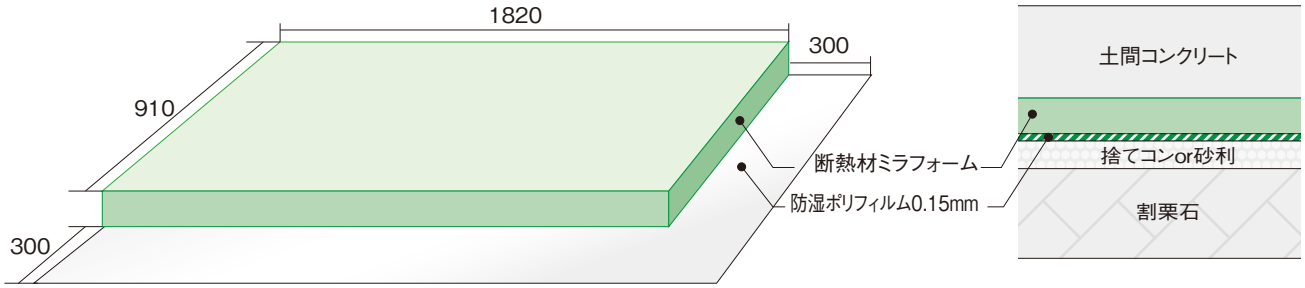
ミラフォーム® DF

株式会社 ＪＳＰ

いま、土間「断熱・防湿」の主流へ。
押出法ポリスチレンフォーム断熱材。

ミラフォーム® DF





高性能・高効果そして経済的

●ミラフォームは「割れにくさ」に定評があります。

●ミラフォームに防湿ポリフィルムをラミネートしています。

●性能、効果は高く、価格は経済的です。

シンプル&スピーディーな施工

●防湿ポリフィルムの敷込み作業と断熱材ミラフォーム敷込み作業が一度にできます。

●多少の風でも作業ができます。

●配筋作業の歩行時に「割れ」「飛散」が防止できます。

優れた防湿性

●防湿ポリフィルムとの一体化により、さらに高い防湿性が期待できます。

■ 製品規格

品　種	厚さ（mm）	巾×長さ（mm）	JIS規格
ミラフォームDF1	25 ・ 30 ・ 50	910×1,820	XPS1bC
ミラフォームDF3	25 ・ 30 ・ 50	910×1,820	XPS3bA

●上記製品はすべて受注生産品となります。
また、記載以外の品種、厚さにつきましてはお問い合わせください。

■ ミラフォームの一般性能

項　目	単　位	M1F	MKS
		XPS1bC	XPS3bA
熱伝導率	W/m・K	0.036以下	0.028以下
密　度	kg/m^3	20以上	25以上
曲げ強さ	N/cm^2	20以上	25以上
圧縮強さ		16以上	20以上
燃 焼 性	—	3秒以内に炎が消えて残じんがなく燃焼限界線を越えて燃焼しない。	
透湿係数	ng/m^2・s・Pa	145以下	145以下
吸 水 量	g/100cm^2	0.01以下	

測定法　JIS A 9521

《取り扱い注意事項》

●火気厳禁（溶接厳重注意）
火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分に注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断等の火気を使用する場合、火花が当たらないように不燃シートなどで必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。

●火気注意（保管・換気について）
ミラフォームに使用している発泡剤は可燃性ガスを使用しており、製品に微量残留しています。この可燃性ガスは、保管・施工中に大気中へ徐々に逸散し、空気よりも重いことから、ピットなどの掘り下げた閉鎖的な空間に滞留しやすい性質があります。可燃性ガスが滞留し爆発限界を超える状況下で火気に触れると火災や爆発が発生する可能性があります。そのため輸送・保管・施工時には火気と換気に十分注意してください。特に閉鎖空間での保管や施工に際しては、可燃性ガス（発泡剤）が滞留しないよう場所の選定や換気の意図的導入など設計・施工管理における注意が必要です。

●紫外線注意
直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。

●有機溶剤注意
アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

●高温注意
使用温度は70℃以下です。直射日光等による急激な温度上昇や多湿状態では70℃以下でも変形が起こる場合があります。養生シートで覆う等、高温多湿状態にならないようご注意ください。

●割れ・踏み抜き注意
局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。

●強風注意
軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

●その他の注意
(1)フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
(2)熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。
(3)燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。（廃棄の際は条例に従って処理してください。）
(4)鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

株式会社 JSP 建築土木資材事業部　ホームページ　www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所　〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）TEL 011-231-2681（代）FAX 011-231-7850
仙台営業所　〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1（青葉通パークビルディング）TEL 022-262-3271（代）FAX 022-266-9583
東日本建築グループ　〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）TEL 03-6212-6362　FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所　〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）TEL 052-962-3225（代）FAX 052-962-3252
大阪営業所　〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル）TEL 06-6264-7903　FAX 06-6264-7913
福岡営業所　〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17（Totsu Biz Hakata Frontビル）TEL 092-411-6863　FAX 092-474-2706
工場　北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

2026.11.0000